



神異綾舞で
夏持ちあひやく
なる本

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

ごあいさつ

お手に取っていただき、ありがとうございます。

本作は、Pixivに投稿したSS付きイラストシリーズを、読みやすくまとめたものになります。

定期的にイラスト（R18含む）をアップロードしていますので、よろしければそちらもチェックしてみてください。

『初夜』 あらすじ

稲妻を取り巻く一連の問題を解決し、さらに、綾華の心を鷲掴みにした旅人。
ある日、綾華からデートに誘われて、待ち合わせで神里屋敷にやってきましたが、
屋敷の門をくぐると、綾華がきらきらした瞳で出迎えてくれましたが、
その周囲から、とてつもないプレッシャーを感じます。

その後、何とか綾華を連れ出して、二人でデートを楽しみました。
夜になり、綾華を屋敷まで送り届けた旅人でしたが、
どういうわけか、そのまま屋敷にお泊りすることになり……

PixivユーザーID

7955710



綾華とデートする

約束をして、待ち合わせで

神里屋敷に来た旅人は、

この場所の

危険度が高いことを

本能的に察知しました。

この屋敷には

敵が出ないはずなのに、

どういう訳か、

ただならぬ緊張感が

漂っているのです。

正門をくぐると、

綾華がはにかみながら

旅人を出迎えてくれました。

とても嬉しそうな

綾華を見て、旅人も思わず

微笑んでしまいますが、

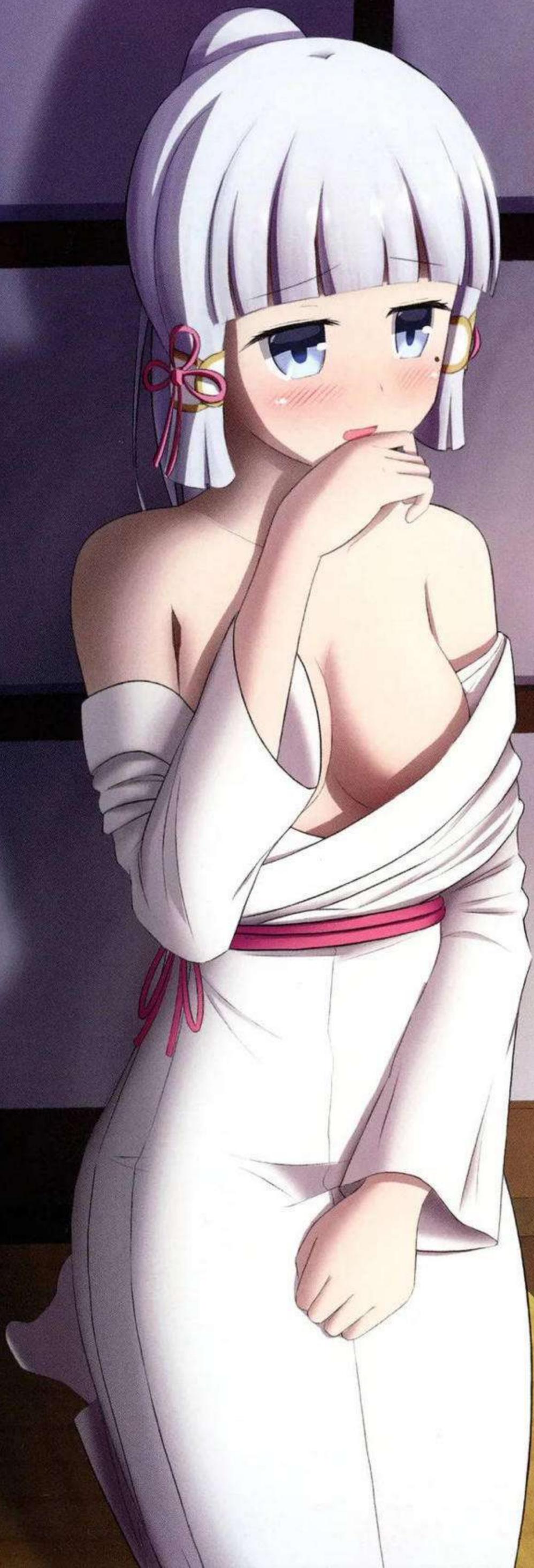
その直後、周囲から

鋭い殺気を感じます――

神里屋敷

危険度高





神里ファミリーの皆と和解して、綾華とデートした旅人。
屋敷に戻ると、皆で夕飯を食べることになり、
そのまま泊っていくことになりました。

就寝の準備をしていると、綾華が客室を訪ねてきます。

襦袢一枚で、三つ指をついて傍に寄ってくる綾華を見て、
旅人は、ついに我慢できなくなってしまいました。
半ば衝動的に、綾華の襦袢を肩からずり下ろします。
綾華は恥ずかしそうに目を逸らしますが、
まんざらでもない様子です……

綾華にお願いして、服を脱いでもらいました。
恥ずかしそうに、もじもじしていたので、
手をつかんで、もっとよく見せてもらいます。

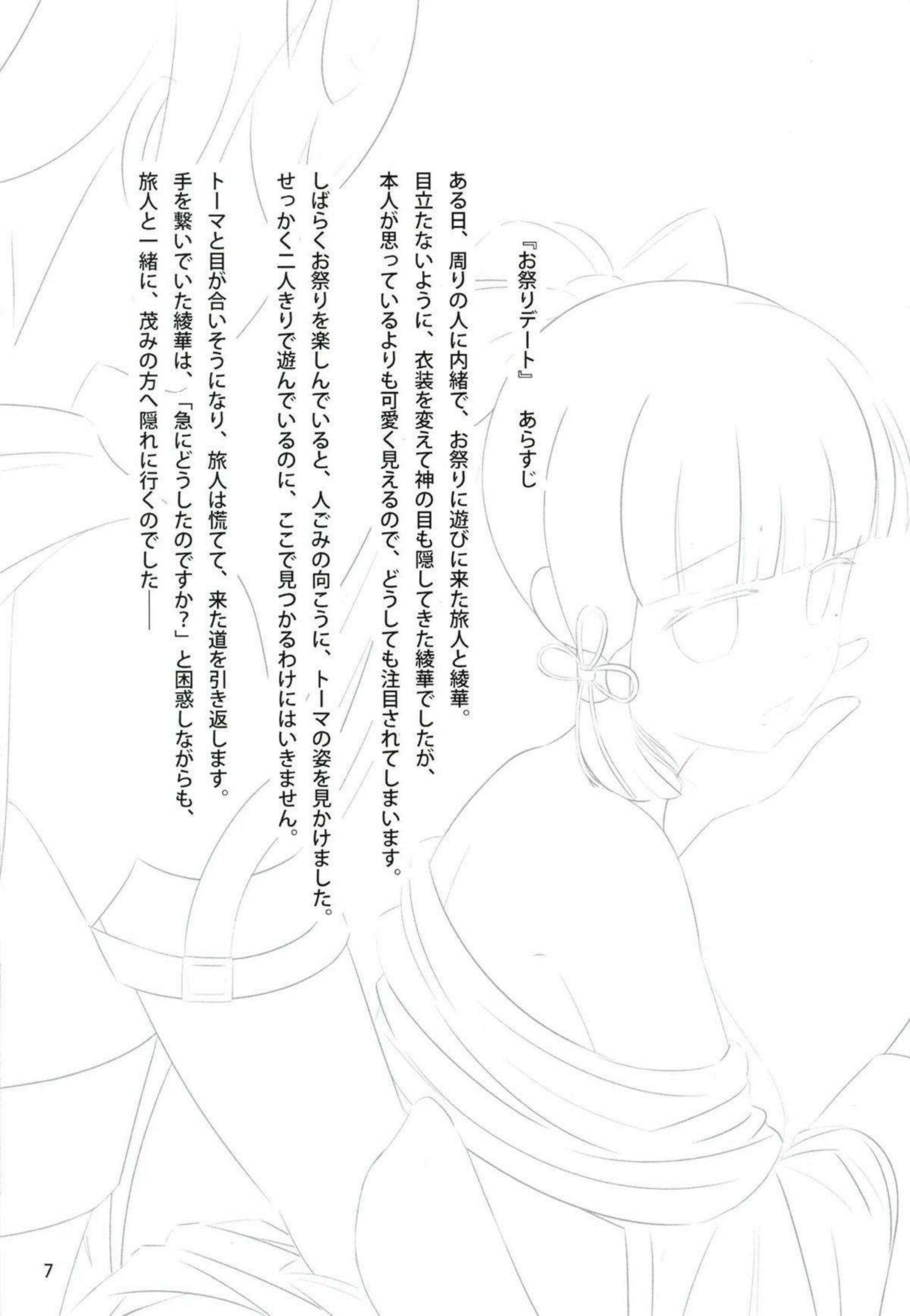


すっかりその気になった旅人と綾華は、
寝室に移動して、身も心も一つになります。

綾華は、大切な処女を捧げながら、
旅人に奉仕しようと、健気に動いてくれます。
身体も心も、優しい温もりに包まれて、
旅人は、彼女の最奥に大量の精液を放出します。

綾華にお願いして、精液まみれになった秘所を見せてもらいました。

恥ずかしがりながらも、よく見えるように、指で広げてくれています。膣内からは、愛液と、出したばかりの精液が、たくさん溢れてきます——



『お祭りデート』 あらすじ

ある日、周りの人に内緒で、お祭りに遊びに来た旅人と綾華。

目立たないように、衣装を変えて神の目も隠してきた綾華でしたが、

本人が思っているよりも可愛く見えるので、どうしても注目されてしまいます。

しばらくお祭りを楽しんでいると、人ごみの向こうに、トーマの姿を見かけました。

せっかく二人きりで遊んでいるのに、ここで見つかるわけにはいきません。

トーマと目が合いそうになり、旅人は慌てて、来た道を引き返します。

手を繋いでいた綾華は、「急にどうしたのですか？」と困惑しながらも、

旅人と一緒に、茂みの方へ隠れに行くのでした――

周りの人に内緒で、デートをしていた旅人と綾華。しかし、途中でトーマに見つかりそうになったので、急いで、近くの茂みの中へ隠れることにしました。



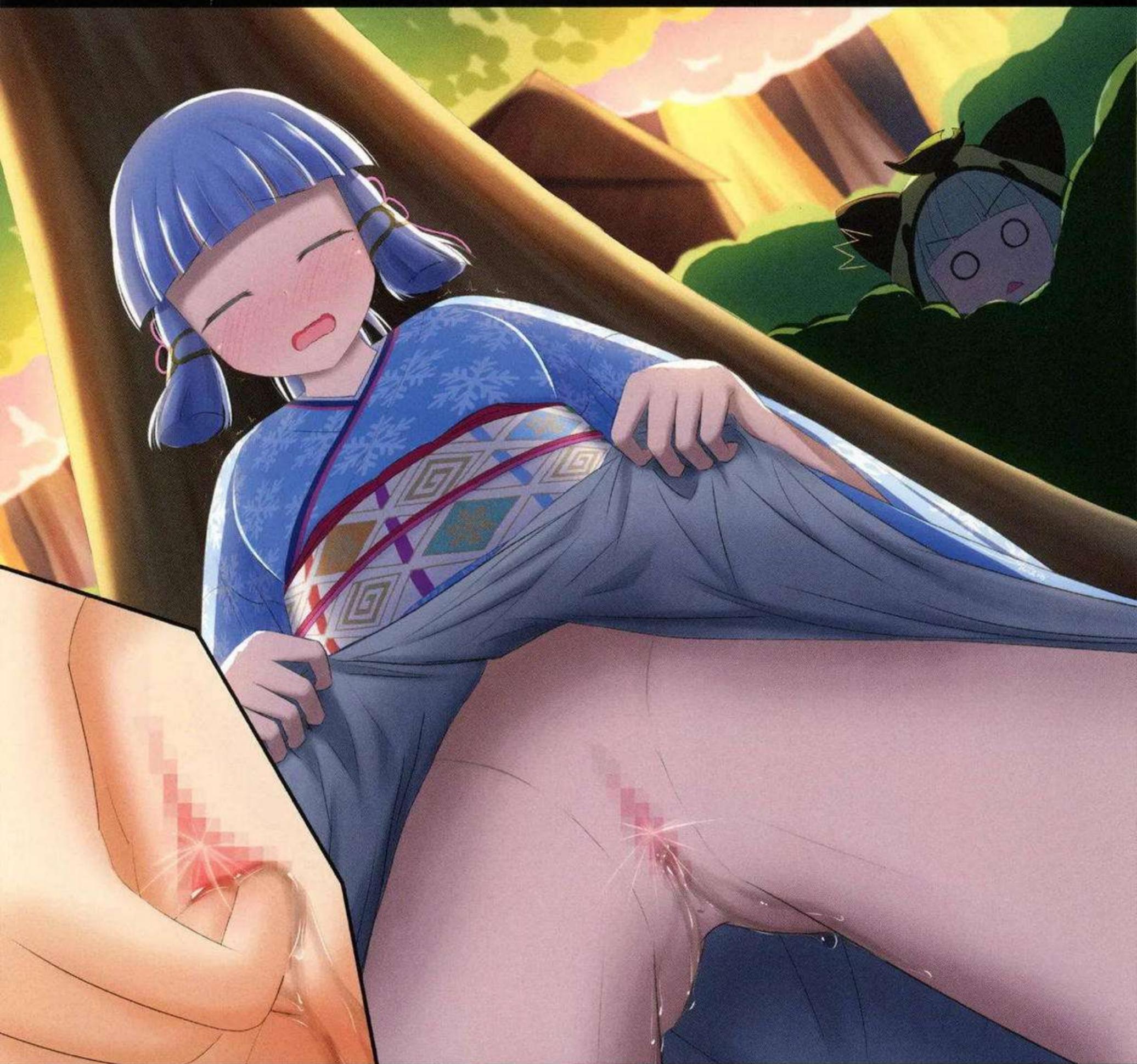
祭りの喧騒を遠くに聞きながら、
綾華と二人、
茂みの奥で息を潜めます。

……薄暗い茂みの中、二人きりで
密着していると、少しずつ
情欲が湧き上がってきます。
気づけば、目の前にある
綾華の顔に吸い込まれるように、
熱いキスを交わしていました。

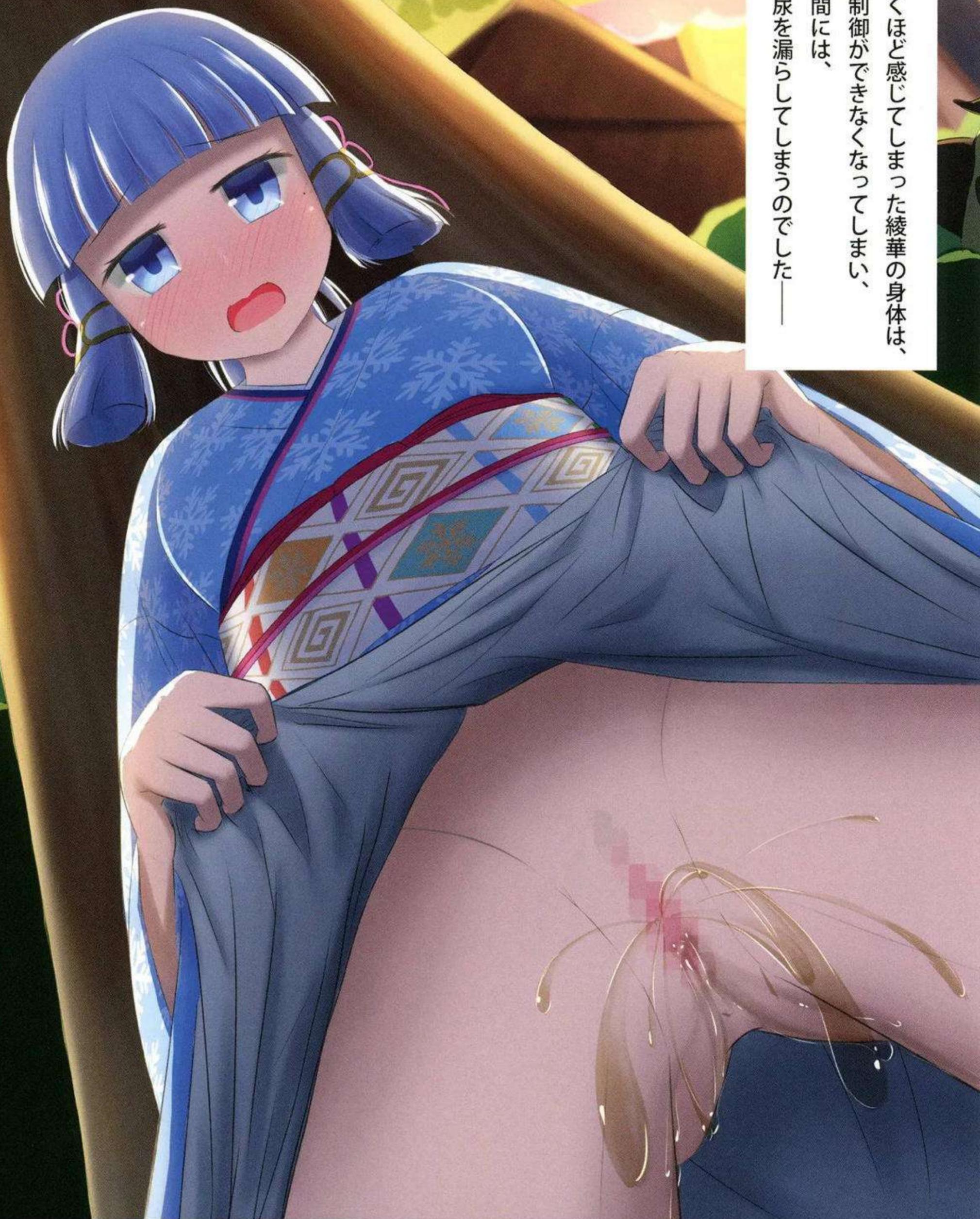
スイッチが入ってしまった
旅人は、甘く囁くように、
綾華に『お願い』をします。

綾華は、恥ずかしがりながらも、
言われた通りに
着物をたくし上げ、
旅人へ恥部を晒しました。

綾華の秘所を優しく愛撫すると、
すぐに温かい愛液で
とろとろになります。



潮を吹くほど感じてしまった綾華の身体は、
もはや制御ができなくなっていました、
次の瞬間には、
大量の尿を漏らしてしまうのでした——





綾華の痴態を見て、ますます興奮してきた旅人は、綾華の腰を後ろから抱えると、そのまま一気に、硬くなった肉棒を挿入します。屋外で行為に及び、困惑と恥ずかしさを感じる綾華でしたが、膣奥を突かれるたびに、子宮が喜んで震えるのを感じます。



快樂の波に耐えられなくなった旅人は、
さも当然と言った感じで——
……まるで、孕ませることで
所有権を主張するかのように、
綾華の中に、熱い精液を注ぎ込むのです。



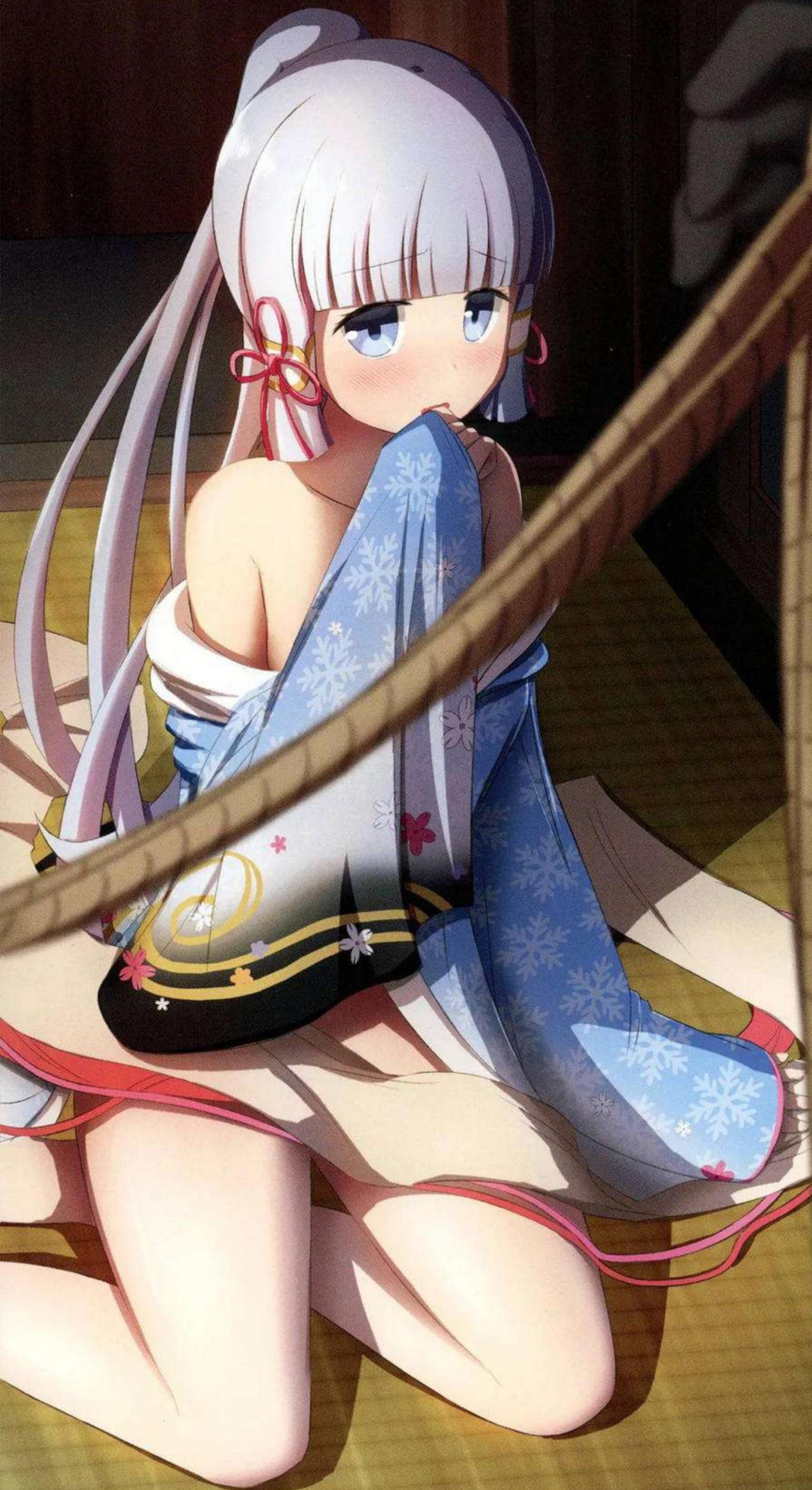
『おもちゃで遊ぼう!』 あらすじ

稲妻に来てからしばらく経ち、稲妻の文化に慣れてきた旅人。今日は、街で面白いものをたくさん見つけてきたので、さっそく綾華に使ってみようと思います。

—その日の夜、旅人は、いつものように綾華の部屋へ向かいます。

幾度も肌を重ねてきたためか、綾華の方も、これから何をするか察した様子です。恥じらいながらも身をゆだねる綾華の服を、手早く脱がしつつ、旅人は早速、新しく買ってきた道具を取り出します……

綾華を半裸にしつつ、今日買ってきた道具を取り出します。
いつもと違う雰囲気を感じて、綾華は少し困惑した様子です。



まずは、縄を使って、綾華を拘束します。
身動きが取れなくなった綾華を後ろから抱きしめて、
綺麗な素肌を堪能します。



身体を触ったり、つまんだり、舐めたりしてみます。
綾華は、ときおり身体を震わせながら、
物欲しそうに、膣口を湿らせていました。





縄で縛ったまま、綾華に目隠しをします。
敏感なところを狙って
上からロウソクを垂らすと、
面白いくらい、身体がびくびく震えます。



我慢できなくなった旅人は、綾華の口に
肉棒をねじ込んで、そのまま腔内に射精します。

状況が分からず、びっくりする綾華でしたが、
自分が啜えているモノの正体を悟り、
口の中に出された熱い液体を、ゆっくり飲み下していきます。

スツキリした旅人は、鞆から
また新たな道具を取り出します。

次の道具は、ローションです。
しかも、ただのローション
ではなく、媚薬入りのものです。

ぬるぬるしたローションを
綾華の素肌に垂らして、
いろいろなところを、
丁寧に愛撫していきます。

おへそのあたりから始まって、
少しずつ、下腹部と胸元に、
液体を伸ばしていきます。

最初は、その様子を
静かに見ていた綾華でしたが、
途中から旅人の手の動きに
合わせて、甘い吐息を
出すようになりました……





少し塗り進めたところで、
旅人は新たな道具を取り出します。

彼が手にしていたものは……筆です。
この筆を使って、細かいところまで、
丁寧にローションを塗りこんでいきます。

媚薬が効いてきた段階で、
綾華の秘所にも
ローションを塗りこみます。
すでにローション以外の液体で
ぬるぬるになっていますが、
それに構わず、たっぷりと
ローションを垂らしていきます。

充血したクリトリスを
筆で丁寧に塗りつつ、
膣の中まで媚薬を塗り込むため、
指を挿入して、
綾華の中をかき回します。

止めどなく溢れる愛液に加えて、
指を動かすたびに、
ぴゅっぴゅっと
潮が噴き出してきます。

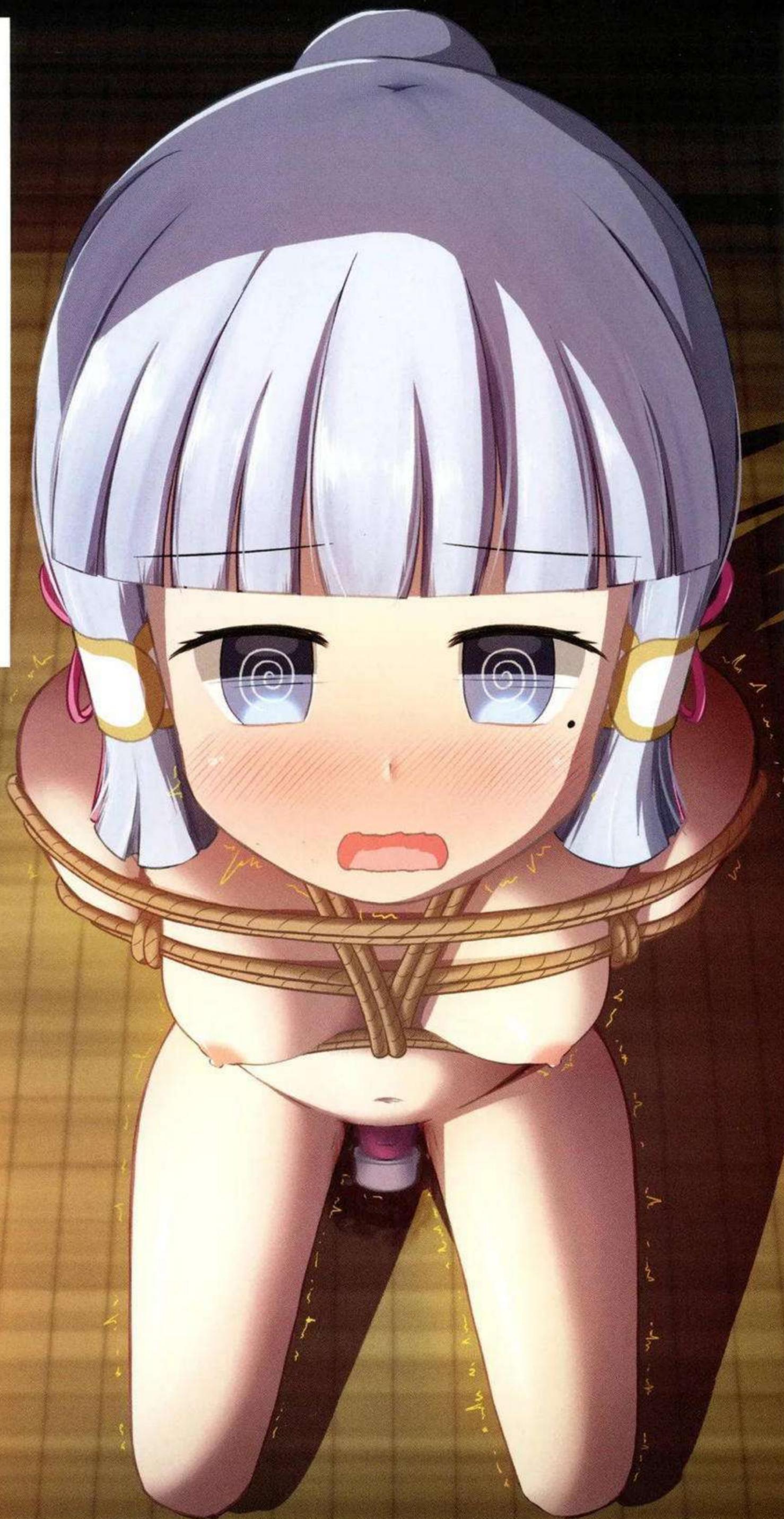
膣とクリトリスを
同時に刺激されて、
綾華は、
激しく絶頂を迎えるのでした――



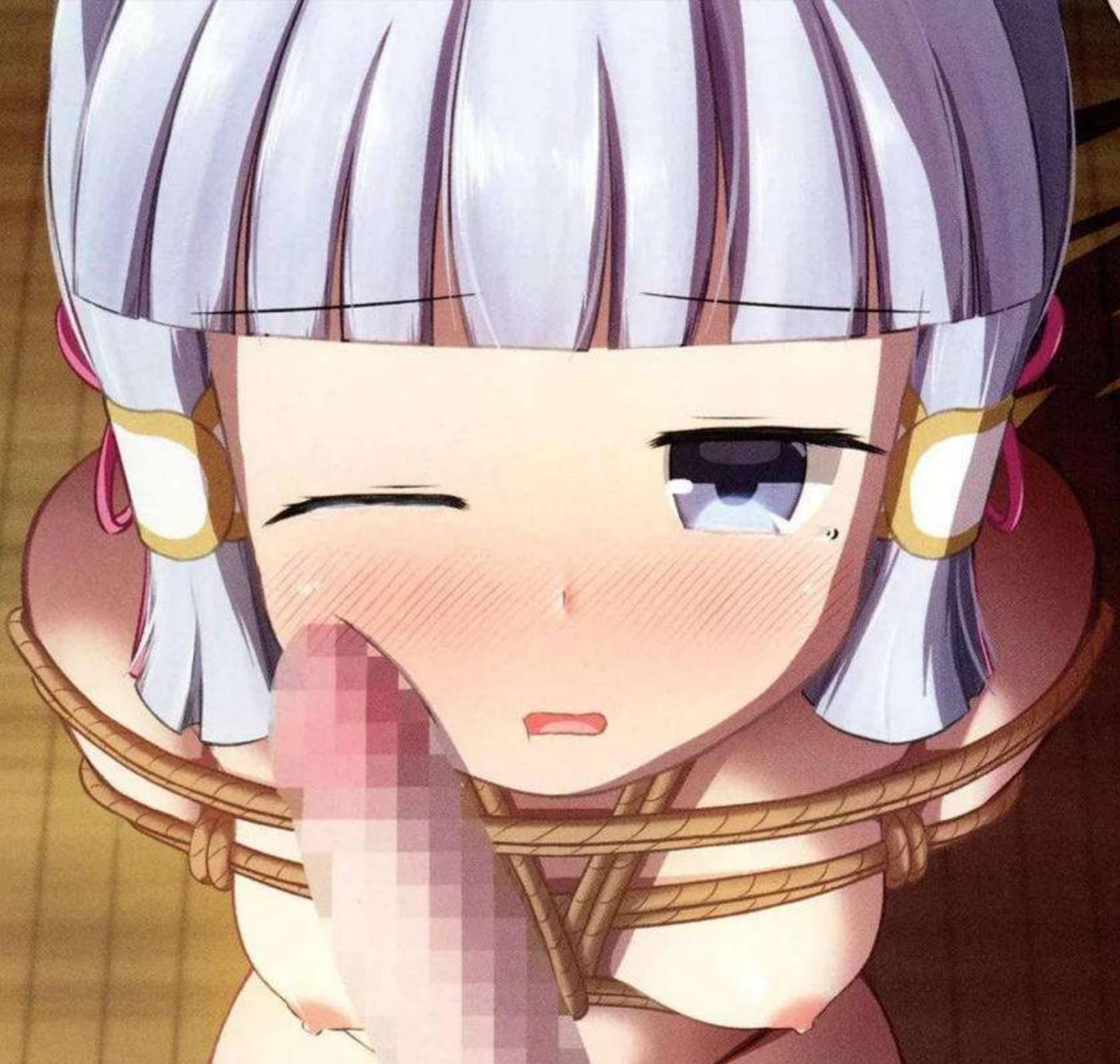
膣内が程良くほぐれたので、稲妻で最近発売された『ハイブ』という玩具を、綾華の目の前に差し出します。

「あの……、もしかして、これを、中に入れるのですか……?」
「待ってください、そんな大きいもの、入らな……」
「えっ、お尻……? そ、そこは、入れるところじゃ……っ」

雷元素を注入すると、バイブが激しく振動を始めました。



愛液が掻きまわされる音と、畳に潮をまき散らす音が、振動と同じタイミングで響いてきます。



振動が弱くなり、綾華も少し落ち着いてきたので、
こちらでも楽しませてもらいます。



喉の奥まで挿入して、たっぷり射精してあげます。
もちろん、出した精液は、全部飲んでもらうつもりです。

旅人は、綾華を縛り直すと、
今にもはち切れそうな肉棒を
彼女の膣内に挿入します。

先ほどから絶頂し続けている
綾華の膣内は、

まるで別の生き物のように
ビクビク震えながら、肉棒を
嬉しそうに飲み込んでいきます。

膣内の感触を堪能していると、
綾華が、おずおずといった
感じで、口を開きます。

「旅人さん……」。

今日は、赤ちゃんが
出来やすい日なので、
外に出してください……」

それを聞いた旅人は、綾華の
身体をぎゅっと抱きしめながら、
彼女の耳元で、甘く囁きます。

「……赤ちゃん、

産んでくれないの？」



旅人の言葉に、綾華は
ドキッと胸を高鳴らせませす。

「俺と綾華の子ども、
産んで欲しいな」

言い終わると同時に、
旅人は腰の運動を
大きくしていきました。

「たくさん出してあげるから、
元気な赤ちゃん産んでね」

そう言いながら、旅人は
綾華の中に精液を放出します。
精神的にも肉体的にも
不意を突かれた綾華は、
旅人の精液を
膣奥で受け止めながら、
再び絶頂してしまいます。

旅人は、危険日を迎えている
綾華の上に馬乗りになって、
何度も何度も、
精液を注いでいきます。





どれくらい時間が経ったでしょうか。
二人で、くり返し絶頂を迎えます。

いつしか、綾華の身体は、
中も外も、余すところなく、
旅人の精液で満たされていました――

—— あとがき ——

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。
この本を作るにあたって、過去に描いたイラストを
じっくり眺めてみたのですが……
気になるところが多くて耐えられなかったので、
ほぼ全てのイラストを、線画から描き直しました。

(かなり大変でした…… _(:3」∠)_

ところで、縄、良いですね。
綾華はどんな服を着ても可愛いですが、
やっぱり縄が一番似合います。
前々から描きたかったシチュエーションなので、
無事に描き切れて良かったです。

前作に続き、ハードなプレイが多いですが、
少しでも楽しんでもらえたら幸いです。

Shotaro

—— 奥付 ——

『神里綾華で気持ち良くなる本』

発行日 2023/08/12

発行元 アルビノきのこ

発行者 Shotaro

Mail albino.kinoko@gmail.com

Pixiv <https://www.pixiv.net/users/7955710>

印刷 株式会社 栄光

※本作品は、原神の二次創作になります

※18歳未満の方の閲覧はご遠慮ください

※本作品はフィクションです。実際に行うと犯罪に該当する表現も含まれます

※無許可の複製・転載・アップロード等を禁じます



アルビノきのこ